

- 問1 日本の歴史における出来事や文化と、それが属する時代の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 正倉院に宝物が納められ天平文化が栄えた — 室町時代 | 2. 勘合を用いて明と貿易が行われた — 奈良時代 | 3. 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代 | 4. 朝鮮への兵の提出に際して多くの陶工が連れてこられた — 鎌倉時代 |
|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
- 問2 キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還するために行われた十字軍の遠征が、その後のヨーロッパの社会情勢に与えた影響として正しい説明を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. カトリック教会の権威が以前よりも強固になり、封建領主が各地で独立した権力を握るようになった。 | 2. イスラム教との交流が完全に遮断された結果、ヨーロッパ独自の自給自足的な経済が完成した。 | 3. 地中海東岸への遠征を通じて、北アフリカから西アジア一帯をキリスト教勢力が完全に支配下に置いた。 | 4. 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。 |
|---|--|--|---|
- 問3 紀元前1600年ごろ、黄河流域で栄えた「殷（商）」において、王が神意を問う占いなどを行う際に、亀の甲羅や動物の骨に刻んで使用した文字を何というか答えなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. ヒエログリフ | 2. 甲骨文字 | 3. 楔形文字 | 4. 象形文字 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問4 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| 1. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。 | 2. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。 | 3. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。 | 4. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。 |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|---|
- 問5 大航海時代以降、南アメリカ大陸の太平洋側に位置する多くの国々では、現在もスペイン語が公用語として使用されています。このように、特定の地域の言語や文化がヨーロッパの国家の影響を強く受けることになった歴史的な経緯として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. イギリスがこの地域の国々と自由貿易協定を結び、英語教育を普及させたため | 2. 地元の先住民がヨーロッパとの交流を深める中で、自発的にスペイン語を国語として採用したため | 3. スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため | 4. ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を占領し、ラテン系の文化を強制したため |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問6 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。 | 2. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。 | 3. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。 | 4. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。 |
|--|---|---|---|
- 問7 古代から中世にかけて、敦煌（とんこう）などのオアシス都市を経由してアジアとヨーロッパを結んだ「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる交易路について、この道を通じて中国から西方へ運ばれたものと、西方から中国へもたらされたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1. 中国からは絹織物が、西方からは紙が伝えられた。 | 2. 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。 | 3. 中国からは綿織物が、西方からは紙が伝えられた。 | 4. 中国からは綿織物が、西方からはぶどうが伝えられた。 |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
- 問8 紀元前5世紀頃、エジプトの王政や後の中国の秦に見られたような皇帝による統治とは異なり、ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネなどで発達した、市民が自ら政治に参加する統治の仕組みを何と呼びますか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 官僚制 | 2. 民主政 | 3. 専制政治 | 4. 共和政 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問9 古代文明の特徴を説明した次の記述のうち、メソポタミア文明に該当するものとして適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。 | 2. ナイル川の定期的な増水を予測するため、太陽の動きを基準とする太陽暦が作られた。 | 3. 黄河や長江の流域で、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで占いが行われた。 | 4. インダス川流域の都市において、下水道や公衆浴場などの高度な都市設備が整えられた。 |
|---|--|-------------------------------------|---|
- 問10 古代アテネの民主政において、政治に参加する権利（参政権）を持っていた人々の範囲について述べた説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------|
| 1. 一定の納税額を満たした、在留外国人を含む男性 | 2. アテネに居住する、成人男性の市民のみ | 3. 土地を所有する貴族と、その家族全員 | 4. アテネに居住する、女性や奴隷を含む全ての成人 |
|---------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------|
- 問11 孔子を始祖とする儒教の考え方は、日本の歴史学や政治にも大きな影響を与えました。江戸時代、儒学の知識を背景に、日本の政権交代の歴史を古代から徳川家まで「五変九回」という独自の視点で分析した『読史余論』を著した人物は誰か。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 福沢諭吉 | 2. 徳川家康 | 3. 新井白石 | 4. 本居宣長 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何といいますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------------|--------|----------|
| 1. 仏教 | 2. プロテスタント | 3. 正教会 | 4. カトリック |
|-------|------------|--------|----------|
- 問13 宗教の歴史について、7世紀のアラビア半島を中心に興ったイスラム教の成り立ちとして最も適切な記述はどれか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. インドの伝統的な信仰とアーリヤ人の宗教が結びついて成立した。 | 2. シャカが修行を通じて、人間の苦しみを克服する教えを説いた。 | 3. パレスチナ地方でイエスが説いた教えを弟子たちが広めた。 | 4. ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
- 問14 円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった | 2. 高度な天文学や数学の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた | 3. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた | 4. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代	渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられたのは古墳時代です。正倉院や天平文化は奈良時代、勘合貿易は室町時代、朝鮮侵略にともなう陶工の来日は安土桃山時代の出来事となります。
問2	答え 4 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。	十字軍は長期にわたり遠征を繰り返しましたが、最終的に聖地を奪還できず失敗に終わりました。これにより、遠征を主導したローマ教皇の権威は衰え、多大な戦費を負担した封建領主や騎士も没落していきました。その一方で、勢力を維持した国王が中央集権的な国家体制を整え始め、中世社会の変化を促しました。また、遠征を通じて東方貿易が盛んになり、イタリアの諸都市が繁栄したことも重要な影響です。
問3	答え 2 甲骨文字	殷の時代、王は国政の重要な決定を下す際に、骨や甲羅を焼いて生じたひび割れで吉凶を占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字です。これは単なる記号ではなく、意味を持った文字として体系化されており、現在の漢字の起源になったとされています。
問4	答え 2 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問5	答え 3 スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため	15世紀末から始まる大航海時代、スペインは金や銀などの資源や領土を求めてアメリカ大陸へ進出しました。特に南アメリカ大陸の太平洋側に位置する地域（現在のペルーやチリなど）を広範囲にわたって植民地として支配したため、支配国であるスペインの言語やキリスト教（カトリック）が定着し、現在まで続く文化的な基盤となりました。
問6	答え 3 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問7	答え 2 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。	中国の特産品であった絹織物は、西方で非常に高く評価され、この交易路の名称の由来にもなりました。一方、西方からはぶどうやスイカなどの農作物のほか、馬や宝石、そしてインドからの仏教などが中国へもたらされました。綿織物は主にインドから伝わったものであり、紙は中国で発明されたものですが、この時期に西方から中国へもたらされた主要な産物ではありません。
問8	答え 2 民主政	紀元前5世紀頃のギリシャでは、個々の都市国家（ポリス）が独立しており、アテネなどの有力なポリスでは、王や皇帝が全権力を握る君主制ではなく、成年男子の市民が民会などに参加して直接意思決定を行う仕組みが築かれました。これは、同時期のエジプトや、後に中国を統一した秦の始皇帝による強力な皇帝政治とは大きく異なる、古代ギリシャ特有の政治形態です。
問9	答え 1 チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。	メソポタミア文明は現在のイラク付近を流れる二つの大河のほとりて発展しました。天文学が発達し、月の満ち欠けの周期に基づく暦（太陰暦）が使われたほか、一週間を七日とする制度や、六十進法などの起源にもなっています。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、中国文明の特徴です。
問10	答え 2 アテネに居住する、成人男性の市民のみ	アテネの民主政は「全市民による政治」とされていますが、当時の「市民」の定義は現代よりも限定的でした。参政権が認められていたのは「成人男性の市民」だけであり、女性、奴隷、および在留外国人は、民会への参加や投票を行う権利を持っていませんでした。
問11	答え 3 新井白石	江戸時代中期の儒学者である新井白石は、儒教的な合理主義に基づいて歴史を考察しました。『読史余論』では、朝廷から武家へと政治の実権が移り変わる過程を論理的に整理しており、単なる出来事の羅列ではなく、歴史の因果関係を解き明かそうと試みました。
問12	答え 4 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問13	答え 4 ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。	アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドが、唯一神アラーの啓示を受けて創始したのがイスラム教です。他の選択肢について、シャカは仏教、イエスはキリスト教、インドの伝統信仰との結びつきはヒンドゥー教の成り立ちを説明したものです。
問14	答え 1 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拝を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。